



**川内商工高校弓道部
優勝・準優勝おめでとう！**

7月にあった全九州高等学校弓道競技大会で、馬場園真子さん(川内商工高校3年)が女子個人2位に。8月にあった紫灘旗全国高校遠的弓道大会では、同高男子団体が見事初優勝を飾りました。選手らは8月29日(月)、岩切秀雄市長を表敬訪問。「一射一射感謝の気持ちで打ちました」などと語りました。



**汗ばむ陽気の中
熱戦!! ホッケーフェスティバル**

9月4日(日)、榎脇屋外人工芝競技場で、ホッケーフェスティバルが開催されました。今年は地域内から合計9チームが参加。小学生の部では監督やコーチだけでなく、観客からも応援や指示の声が飛び交い、会場が一体となって「熱戦」が繰り広げられました。



**「早く大きくなれ!」
そばの種まき体験**

9月1日(木)、入来小学校の3年生以上の児童約50人が、そばの種まきを体験。この種は、清色地区コミュニティ協議会の方々が前日深夜までかかって準備したもの。児童たちは、汗をかきながら、約70アールほどの畑に一粒一粒丁寧にまきました。
【写真・記事提供】＝
同協議会 主事 横田美佳様



市内各地から

まわりの話題

部屋中を
芳しい香りで包む
サンセベリアの花
(榎脇町・笹原武幸さん宅)

平成23年8月30日撮影



**平成22年度
決算審査意見書を提出**

8月29日(月)、監査委員(写真左から上赤委員、徳田代表委員、古里委員)が、平成22年度決算審査意見書を岩切秀雄市長に提出しました。この中で徳田代表委員は「市長と職員が互いに知恵を働かせ、将来に展望を抱きながら頑張ってもらいたい」と話しました。



**アクアタイムで外来魚の
駆除促進事業を実施中!**

アクアタイム(蘭牟田池自然公園内)で、外来魚の駆除を促進するため、蘭牟田池で釣った外来魚の買い取りを実施中。これは同施設指定管理者が取り組む自主事業。8月末現在3,995匹の買い取り実績があります。10月30日まで実施予定ですので、皆さんもぜひ、ご協力ください。

子どもの学力向上を図る

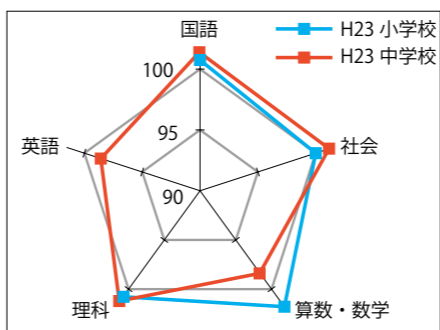
学習習慣・生活習慣の確立を



子どもの学力を向上させるには、どうすればよいのか。今回は、学校と家庭と地域が一丸となって取り組みたいことについてお知らせします。

学力の現状

国が例年4月に実施していた「全国学力・学習状況調査」は、東日本大震災の影響などを考慮して中止になりました。そこで、毎年実施している「標準学力検査」の結果を基に、本市の学力の現状を分析すると、次のような状況にあると言えます。



学力向上を図るために

小学校はすべての教科において、全国平均と同等か、それ以上の結果でした。また、中学校では、国語・社会・理科においては、全国平均以上の結果でしたが、数学と英語がわずかに全国平均に届きませんでした。

- ◎「10分×学年+30分」以上の家庭学習
- ◎「早寝・早起き・朝ごはん」
- ◎「笑顔であいさつ・お手伝い」

◆**学習習慣の確立を**
学力を向上させるためには、学習時間を確保し、学習習慣を確立することが大切です。では、どれぐらい時間を確保すればよいのでしょうか。県では小学校60分・中学校90分を提唱していますが、本市では各学年の実態に応じて「10分×学年+30分」という目標を設定しています。

学年	10分×学年+30分
小2	10分×2年+30分= 50分
小6	10分×6年+30分= 90分
中1	10分×7年+30分= 100分
中3	10分×9年+30分= 120分

例えば、小学6年生の家庭学習は、漢字(計算)・日記に加え、今日一日の学習

生活習慣の確立を

◆**生活習慣の確立を**
学力向上に、生活習慣はどのように影響するのでしょうか。「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さについて、脳科学研究者の川島隆太氏は、次のように述べています。

学習内容を脳に定着させるには、良質な睡眠が最低6時間は必要だそうです。また、朝ごはんを食べて、脳の栄養となるブドウ糖や、ブドウ糖を上手に働

内容をまとめ直したり、テストで間違えた問題をやり直したりすることも大切です。そのためには、最低でも90分の家庭学習時間は確保してほしいと思います。

また、中学3年生は、2時間以上が目標です。数学の問題や英語の問題に、時間をかけて繰り返し取り組みることが大切です。本市の家庭学習時間を調べてみると、目標時間に到達した小学生は約6割、中学生は約4割でした。家庭では学習時間を確保するために、テレビやゲームなどの使用ルールが決められているでしょうか。家庭学習の時間は決められているでしょうか。生活のリズムを見直し、学習習慣の確立について努力を続けていく必要があります。

【笑顔であいさつをしていますか】

- ◆おはよう
- ◆こんばんは
- ◆ありがとう
- ◆こんにちは
- ◆さようなら
- ◆おやすみなさい

◆**笑顔であいさつ**
「笑顔であいさつ」も学力向上に関係しています。子どもは、あいさつを通して、自分を素直に表現する力を身に付けていきます。

今日一日、気持ちよくあいさつができたでしょうか。また、お手伝いも心の成長を大きく助けます。お手伝いをして家族から喜ばれることで、子どもは汗を流し働く喜びを味わいます。そして、最後まで諦めず、何事にも取り組むことの大切さを学んでいくのです。ぜひ、家庭でお手伝いをさせてください。

【問合せ】本庁学校教育指導グループ ☎(23) 51111(内線5321)